モジュール8「美術館の展示」としてのSNS動線設計理論

【ワークの目的】

個別の投稿を単なる「点」ではなく、購入へと続く「線（動線）」として繋ぎ合わせます。あなたのSNSを一つの「オンライン美術館」と捉え、フォロワーを迷わせず、確実に作品の購入へと導く最終的な仕組みを完成させます。

【Q1：仕組みによる意識の書き換え】

（AIワーク1：フェーズ別の1週間投稿カレンダー作成の結果を受けて）

AIが提案した、認知（リール）、共感（フィード）、購入（ストーリーズ）の役割を分けた1週間分の投稿カレンダーを確認してください。

- これまで作品が売れない理由を「自分の才能が足りないからだ」と思い込み、一人で苦しんでいませんでしたか？ 苦しかった部分は何でしたか？

- 「売れない最大の理由は才能ではなく、観客を導く『道（順路）』がないことだ」という事実に触れたとき、あなたの創作活動への不安はどのように変化しましたか？

- 闇雲な投稿を卒業し、SNS全体を「三つの展示室」として戦略的に運用すると決めた今、あなたはどのような「心の余裕」を持って発信を続けられると感じていますか？具体的に書き出してください。

【Q2：学芸員視点による価値の再定義】

（AIワーク2：ファン化を加速させる「固定投稿」の執筆を受けて）

初見の人があなたのファンになるための、自身の強みや実績を盛り込んだ「固定投稿（プロフィール）」の文章を読んでください。

- その文章を「バーチャル美術館のエントランス」として客観的に眺めたとき、あなたがこれまで自分では気づかなかった「プロとしての品格や信頼」をどこに感じましたか？

- 「学芸員の審美眼」によって言語化されたあなたの「作品への想い」や「実績」を堂々と提示することで、あなたは訪れる観客に、どのような「没入感のある鑑賞体験」を提供したいと感じましたか？

【Q3：理想の未来と社会への貢献】

（AIワーク3：クリックしたくなる「マイクロコピー」の設計を受けて）

購入ページへの誘導を、「詳細はこちら」よりも魅力的な言葉に変えた5つのマイクロコピーを確認してください。

- 適切で魅力的な「看板（案内）」を立てることで、あなたの作品を必要としているファンは、迷いや疲れを感じることなく、どのような「幸福な結末（購入）」へと導かれていますか？

- あなたがSNSを「オンライン美術館」として整え、プロとしての信頼性を視覚的に提示し続けることは、美しいものを求める人々に対して、どのような「精神的な豊かさ」や「安心感」を提供することになると確信していますか？

- 「出口への看板」を自らの手で立て、作品を社会へ届ける仕組みを完成させたあなたが、アーティストとして社会に果たしたい役割を記述してください 。

【本日のプロフェッショナル宣言】

風茜の教えと本日の内省を経て、あなたがプロとして一生守り抜くと決めた信念を清書してください。

「私は、学芸員視点の（ ）を磨き、自らの表現を通じて（ ）という価値を、迷いのない動線で社会へ届けることを誓います」